

NST活動

15東病棟は消化器外科病棟です。消化器疾患のある患者さまには栄養管理はとても重要で、術前、術中、術後どの時期に置いても栄養管理は必要不可欠です。日々、医師、看護師をはじめとした多くの医療スタッフが協力し合い、患者さまの早期回復・早期退院を目指して取り組んでいます。

現在15東病棟では、週一回入院患者さまに体重を測定していただき、看護師、栄養士が食事摂取量や輸液状況、採血データを確認して栄養評価を行います。

そして毎週水曜日には、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士で集まり、NSTカンファレンスを開催し、一人ひとりに適切な栄養療法を検討しています。討議内容は点滴や栄養剤の種類、量、投与方法、あるいは食べやすい病院食の検討など、多岐に渡ります。



活動ポイント

術前術後の栄養状態は患者さまの術後の経過やQOLに多大な影響を及ぼすことが知られています。当病棟では週一回のカンファレンスを実施し患者さまの栄養面を他職種で多面的に評価することで有意義な栄養サポートを行うことができるよう取り組んでいます。

また、15東病棟にはNST専門療法士を取得した看護師が在籍しており、日々の看護ケアを通じて、患者さまからのご相談をダイレクトに受け止め、確かな知識をもってNSTカンファレンスの場へ橋渡しができるという点は大変な強みです。